



BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸いです。

■平成29年度賛助事業 第182回理事会にて可決される

ボーイスカウト活動に対する賛助金について、本賛助会の目的は下記の通りです。

- (1) 川崎市内にけるボーイスカウト運動への賛助
- (2) 指導者養成の協力賛助
- (3) ボーイスカウト運動の普及宣伝

この趣旨にしたがって平成29年度のボーイスカウト川崎地区に対する賛助金が3月12日開催の理事会において以下のとおり審議され5月21日の総会にて下記の通り承認をされる運びになりました。

内訳

ボーイスカウト運動対象事業	賛助金額
第25回ボルチモア交流派遣	¥250,000
B-P祭	¥130,000
第25回GATC	¥90,000
白梅隊	¥50,000
ビーバー祭	¥30,000
指導者養成対象事業	賛助金額
ボーイスカウト講習会	¥50,000
組織拡張勉強会	¥50,000
指導者交流企画	¥30,000
ボーイスカウト野外講習会	¥20,000
合計	¥700,000

このようにボーイスカウト活動に賛助できるのも会員の皆様のご理解とご協力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。



【シリーズ】 ■賛助会のあゆみ(第2回)

賛助会 副会長
近江 廣之

当会の設立総会は1985年(昭和60年)7月7日に川崎市総合自治会館にて開催されました。設立総会までに、会長、副会長を提案できるようにするために、古尾谷協議会長に依頼して、当時の川崎地区協議会・顧問でありました石井英夫氏の了解をいただきました。総会当日では会長として石井氏、副会長に保田氏、出竹氏、事務局長に伊奈忍氏、次長に萩原氏、会計に楠氏、その他の理事を含め役員20名が選出されました。



賛助会発足当時のネッカチーフ

議題では、活動5ヶ年計画を提出しました。それは賛助会基金として一千万円を目標とし、これの運用益は年間60万円を見込むというものでした。会員は個人200名、団体50、会費収入は150万円、事業収益は100万円とし、承認されました。また、この目標を達成するために前年度より伊那事務局長を中心に企画・計画を積み上げて、スタートより自信をもって行動に移せるよう考えられた計画でした。先輩の方々の計画および周りの人たちの協力を得る説得力、地区協議会の協力など感心することが沢山

ありました。こうして賛助会は初年度の活動に入りました。

1985年度の収入は、個人会員65名、法人会員19法人、団体会員13団体で72万5千円、寄付金25万円、事業収益80万円、繰越金を入れて収入合計は227万4千円と上々の滑り出しとなりました。会員の方々の積極的な協力と理事会のまとまり、行動力が石井会長を中心に展開されたからと今でも思っております。

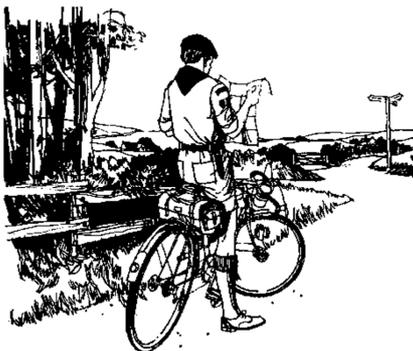
地区協議会への賛助金は地区行事に23万円、特別賛助金としてボルチモア（USA）のボーイスカウトの交流派遣（第一回派遣）に10万円を賛助いたしました。この派遣は交流会の始まりとして井上一彦隊長をはじめとする指導者およびスカウト14名が参加いたしました。古尾谷協議会長が川崎市長に直接交渉した結果多額の支援をいただき成功することができました。その後の交流会は順調に進み、スカウトたちの一つの希望になっております。



第一回ボルチモア派遣隊（1985年）
市長表敬訪問

賛助基金は初年度分として100万円を繰り入れ、運用を始めることができました。

このようにして始まった1年間、いろいろなところでいろいろな力が、一つにまとまって2年目に向けて、より充実した1年になるよう、次々と出てくるアイデアを具体化する事項を理事会で検討し、行動につなげるべく楽しみながら初年度を終了することができました。



■寄稿

爺の僻（ひがみ）ごと

川崎地区協議会長
小山新生

昨今のニュースで見る騒ぎはなんだろう。築地市場移転にしろ、森友学園の国有地払下げ問題にしろ、



己の財布でなければ誰でも無責任に自由にして良いものか？

公僕の使命・矜持の無さ・無責任な態度に呆れてくる。

今の情報機器の発展には目を見張る物がある。インターネット、SNS、スマートフォンなどICT（情報通信技術）の普及に伴う高度情報化社会についていくのは大変である。

我々は毎日様々な情報に晒され、それを便利とし利用している。

一方でそれに慣らされ、これら情報機器を介しての会話が日常的になりつつ有る。ところが一步間違っ、会話のボタンを掛違うと恐ろしい事になるのを忘れてはいけない。

我々は地球コミュニティーの中に生き、生かされている。人類が地球に出現してから何万年になるのか知らないが、我々の科学・技術は代々積み上げられ、発達してきた。

しかし人間の一生は常にゼロから生まれ、どのような賢者も一世紀前後の寿命である。この発達した高度な科学技術をコントロールするのも常にゼロから生まれた人間だ。

世界の争いは人類誕生以来未だに無くならない。これは人間の性として、常に競争意識が有るからだろう。

だからこそ、これだけの科学技術の発展が有り文明が育まれた。

衣食住足りて初めて他人を慮る（おもんばかり）ことが出来るのも人間の性なのか。

我々ボーイスカウトに関わる者の使命は大きい。如何に子供達の競争意識を刺激し、これら先人達の残した文明を正常に駆使し得る、まともな人間に訓育していくか。

非常に難しく、又遣り甲斐のある使命である。
ガンバレ！！ ボーイスカウト

■賛助事業報告

川崎地区委員長 境 紳隆

1. ボーイスカウト講習会

川崎地区では、保護者や指導者を目指す方々を対象に、ボーイスカウトに関する基礎的事項を学習・確認する場としてボーイスカウト講習会を賛助会の補助の下、定期的で開催しています。平成28年度は6月・10月・1月に計3回開催し、合計58名（内川崎地区から49名）の方が受講されました。

本講習会は、ボーイスカウトの歴史的側面やスカウト教育の原則、各年代別教育目標等を座学で学習する他、簡易なハイキングや各年代別模擬集会を体験してスカウト教育の理解促進を図り、以てスカウト活動を充実したものにするを目的としています。

川崎地区の様に継続的に年3回開催している地区は少なく、その意味では誇って良いのですが、BS講習会に続く研修所・実修所への参加に繋げて行くことが今後の課題です。



2. 組織拡張勉強会

川崎地区では、神奈川連盟が平成26年8月に発行した『団を維持させる5つのファクター・探してみよう！役に立つ事例集』をテキストとして、平成27年度より「組織拡張勉強会」を継続的に開催して参りました。各会「育成会運営」やら「団運営」「隊運営」「スカウト募集」等テーマを決め、各団の実情と照らして意見交換を行い、平成28年11月27日に第6回を開催して、一応の区切りと致しました。

第6回には、県連から藤本理事長や松島理事も特別参加して下さり、会議終了後同会場に於いて簡単な打ち上げを行い、様々な情報交換や意見交換を行うと共に、各団益々の発展を誓いあいました。

組織拡張の取り組みに終わりはありません。平成29年度もまた、別の切り口で取り組んで参る所存です。引き続きのご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

3. 指導者フォーラム

平成28年度の新たな取り組みとして、指導者間の横連携を強化すべく、賛助会ご支援の下、平成29年3月11日・12日に川崎市黒川青少年野外活動センターに於いて「指導者フォーラム」(実施に際して「スカウターズフォーラム」と呼称)を開催致しました。

特別ゲストとして多賀前副コミッショナーにお越し戴き、持参戴いた鹿肉のグリルを頂戴しながら、現在取り組んでおられる「猟師の世界」に係るお話を伺いました。



同様に特別参加戴いた荻原元地区委員長には、段ボールを活用した燻製器&オーブ

ンの作製をご指導戴き、晩のおかずに燻製を、翌日の朝食にピザトーストを調理して堪能しました。その他、結索法、スカウトソング、「火口作り」から始まる火熾し等、参加者が夫々得意な分野について教え合い語り合う有意義な時間を過ごすことができました。

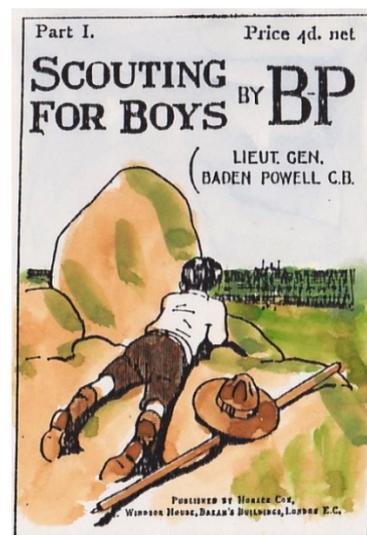
の作製をご指導戴き、晩のおかずに燻製を、翌日の朝食にピザトーストを調理して堪能しました。その他、結索法、スカウトソング、「火口作り」から始まる火熾し等、参加者が夫々得意な分野について教え合い語り合う有意義な時間を過ごすことができました。

の作製をご指導戴き、晩のおかずに燻製を、翌日の朝食にピザトーストを調理して堪能しました。その他、結索法、スカウトソング、「火口作り」から始まる火熾し等、参加者が夫々得意な分野について教え合い語り合う有意義な時間を過ごすことができました。



◆ちよつと一休み

B-P が書いた Scouting For Boys の初版表紙に少し着色してみました。



後姿がイキイキしてますね！



■第182回 理事会報告

平成29年3月12日 中原区川崎総合自治会館に於いて理事会が開催され次の項目につき報告、審議検討され決定しました。

- 1.ブーメラン2号をニューイヤー・パーティーに於いて配布した。
- 2.ニューイヤー・パーティーのオークションの売上実績は156,100円となり賛助金へ納入した。
- 3.平成29年度賛助金につき検討し川崎地区協議会からの申請通り700,000円と決定した(詳細前掲の通り)。
- 4.総会について
総会・懇親パーティーを平成29年5月21日 中原川崎総合自治会館にて開催することを決定した。
- 6.各理事の役割分担表を作成する。
- 7.会報誌ブーメランを地区ホームページからも閲覧できるように地区協議会へ依頼する(設定完了)。

■2017年 ニューイヤー・パーティ報告

平成29年1月28日(土)、川崎市総合自治会館に於いてニューイヤー・パーティーが開催されました。谷本川崎地区協議会長は、今年もボーイスカウト活動を皆様と共に快活にしていきたいと思います。そして乾杯のちに歓談に移り、川崎地区の11個団の精鋭たちがエールの交換おこないました。その後、川崎地区の若手指導者による物品のご紹介で、恒例のオークションが始まりました。高価な物品をご提供して頂いた方々ならびにオークション物品の購入をして頂いた方々にこの場をおかりして感謝を申し上げます。おかげさまで多くの方の協力を得まして、総て完売を致しました。売上金は、ボーイスカウト川崎地区の多くの活動に賛助金としてお渡しいたします。



■賛助会員の分布(2017年4月末日現在)

- ・準会員：12名
- ・個人会員：101名
- ・団体会員：24団体(内11法人含む)

●編集後記

もうすぐアユ釣りが解禁となる。若鮎は元気がいい。釣り師はその若鮎と戯れる醍醐味が忘れられないものだ。スカウティングもこれから醍醐味を味わえる季節になる。子供たちの笑顔は指導者の手腕にかかっている。この季節に子供たちにその醍醐味を体験させてもらいたいものだ。(H)

■昔の写真を探しています

賛助会草創期の活動に関する写真を探しています。ダンスパーティー、アゼリアカップ(ゴルフコンペ)、ニューイヤー・パーティ等の写真をお持ちの方は事務局へ是非ご提供ください。プリントの写真の場合はスキャンした後ご返却いたします。是非皆様のご協力をお願いいたします。

■賛助会ホームページの紹介

賛助会では皆様へ活動内容をご紹介することを目的にホームページを開設いたしました。このホームページでは会報「ブーメラン」のバックナンバーを見ることができます。

<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

なお、当会ホームページは川崎地区協議会のホームページからもリンクされております。

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準育成会員(年会費) 一口 2,000円
- ・個人会員(年会費) 一口 5,000円
- ・団体会員(年会費) 一口 10,000円

なお、個人会員ならびに団体会員には当会の審議事項に関し議決権を有しますが、準会員につきましては議決権はございません。

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

【お問い合わせ】

- ・賛助会事務局(会員担当：鈴木)

E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、400字程度の原稿と写真を是非お寄せください。送り先は上記賛助会事務局へお願いいたします。

